

◆ **今週のコメント** (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ **梅毒**の報告が1例(20歳代女性)あり、症状は鼠径部リンパ節腫脹・梅毒性バラ疹・丘疹性梅毒疹・扁平コンジローマで、感染地域は国内、感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は69例となりました。

梅毒の感染経路や治療、予防等に関しては、下記ホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市衛生環境研究所にゆーす(平成29年度第1号)「性感染症」って何？」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175313.html>

○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

- ・ **感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は11.47(493例)となり、前週の9.49(408例)から増加しました。第44週から報告数が連続して増加しています。手洗いなどにより感染を予防しましょう。

予防方法等詳細については下記URLを御参照ください。

○健康安全課ホームページ「感染性胃腸炎に注意！」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000046226.html>

◆ **今週のトピックス: <インフルエンザ>**

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は3.81(263例)となり、前週の1.52(105例)の約2.5倍となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ **発生状況**

全数把握の感染症

- ・ **二類: 結核 6例(肺結核 3例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 2例**
【1月以降の累積報告数 357例(肺結核 181例, その他結核 58例, 潜在性結核感染者 118例)うち喀痰塗抹陽性 85例】
- ・ **五類: 梅毒 1例【1月以降の累積報告数 69例】**

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	3.81	263
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	11.47	493
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.58	68
	③ 水痘	0.58	25
	④ 突発性発しん	0.56	24
	⑤ 手足口病	0.44	19
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

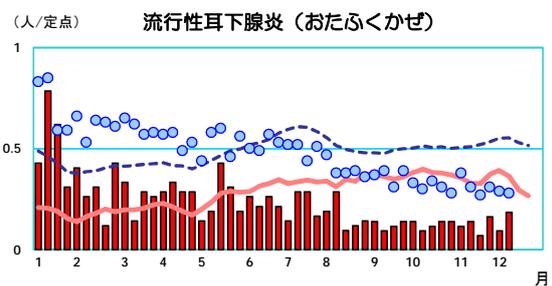
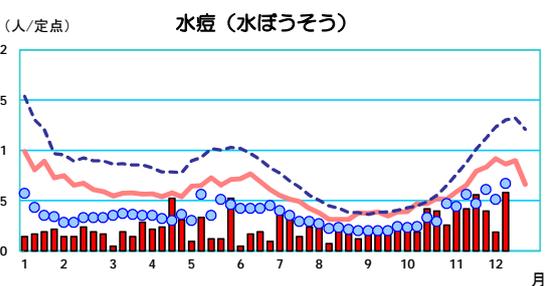
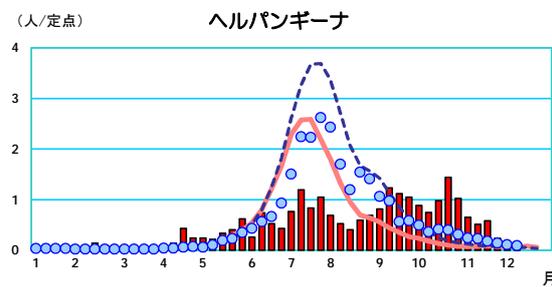
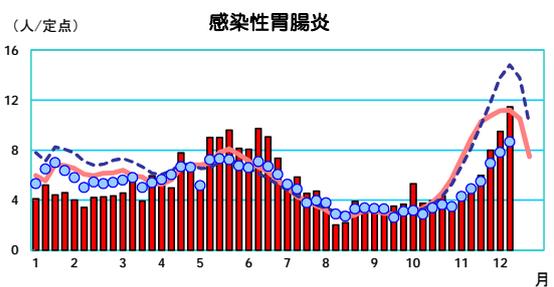
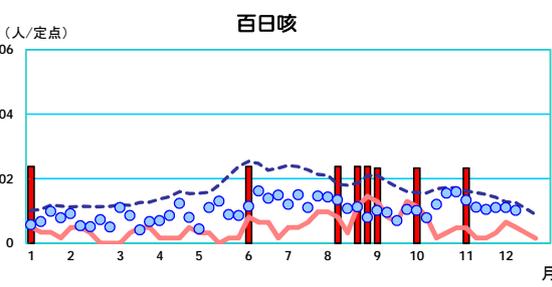
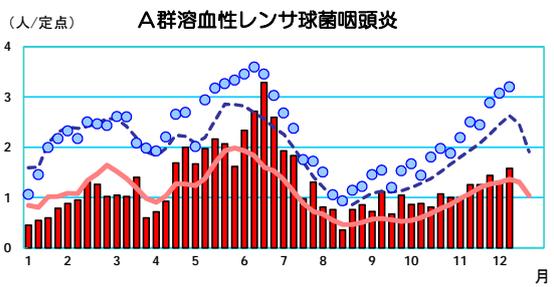
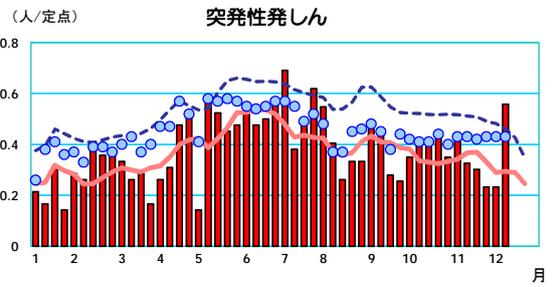
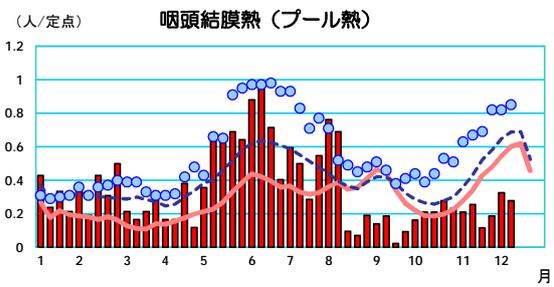
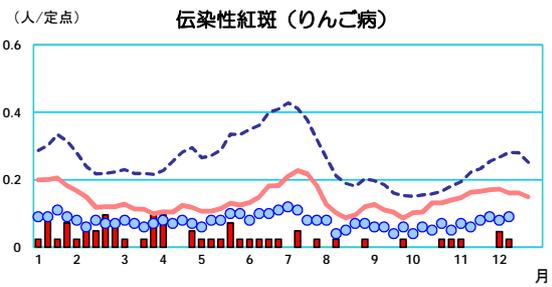
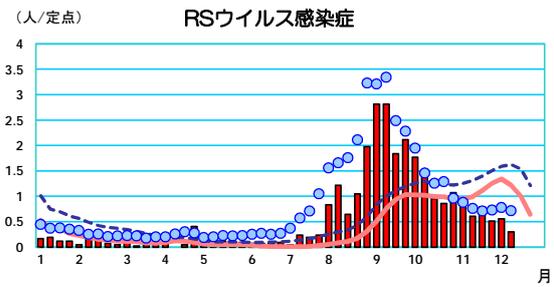
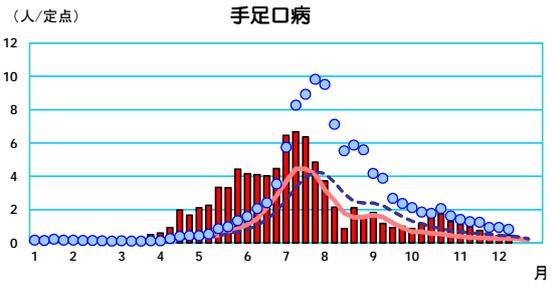
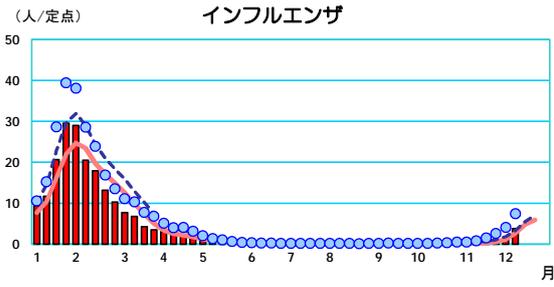
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成29年12月20日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



第50週(12月11日～12月17日)トピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は3.81(263例)となり、前週の1.52(105例)の約2.5倍となりました。流行シーズン入りの目安となる1を超えた前々週の1.06(73例)と比較すると2週間で約3.6倍と急速に増加しています。全国では前週4.06から増加し7.40となりました(図1)。

市内各行政区を見ると、西京区を除く10行政区で前週より増えており、特に南区では定点当たり報告数が10を超えて注意報レベルに相当する状態です(図2)。

都道府県別の発生動向を定点当たり報告数で見ると、全ての都道府県で前週より増えていることに加え、長崎県の18.9をはじめ岡山県・宮崎県で13.6、大分県で13.3など、11県で注意報レベルを超えており、流行の広がりが見られます(図3)。

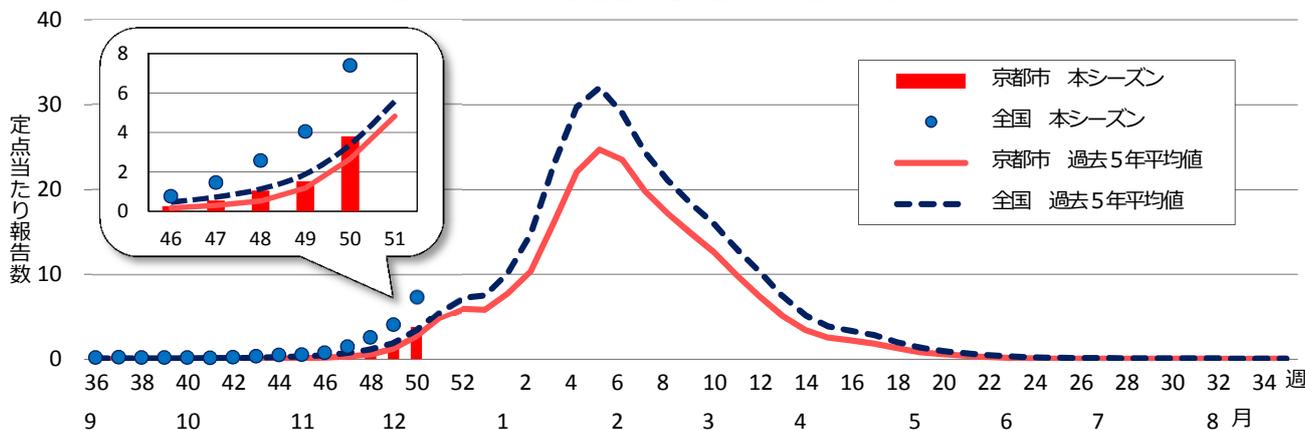
例年、流行開始の目安「1」を超えた後、急激に報告数が増え、第52週から翌第7週頃(12月末から翌2月中旬)にピークを迎えます。今後の発生動向に注意するとともに、手洗いやうがいなどの予防を徹底し、咳やくしゃみが出る時は咳エチケットを心がけて、発熱などの症状があれば早めに受診してください。咳エチケットについては下記URLを御参照ください。

○「インフルエンザ流行中 咳エチケットで防ごう！」

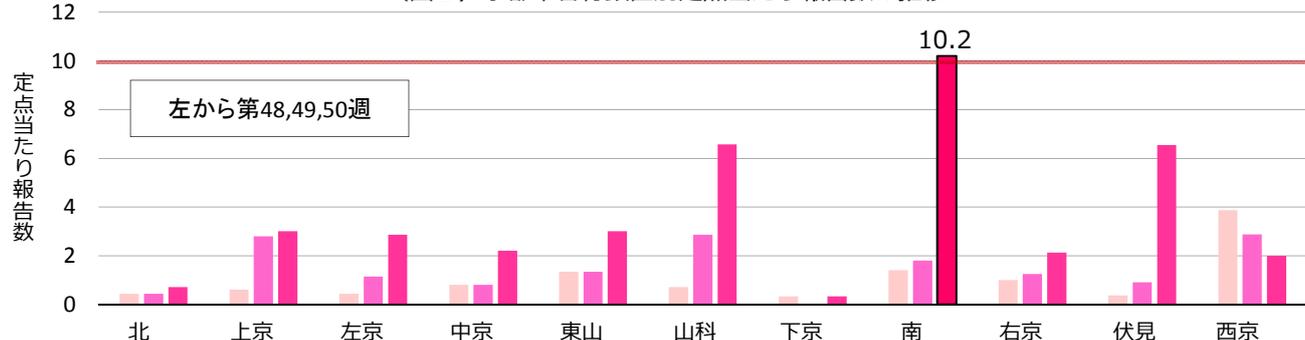
京都市こどもの感染症, 平成29年1月号(PDF形式), (京都市衛生環境研究所)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000146/146238/KoDoMo29-01.pdf>

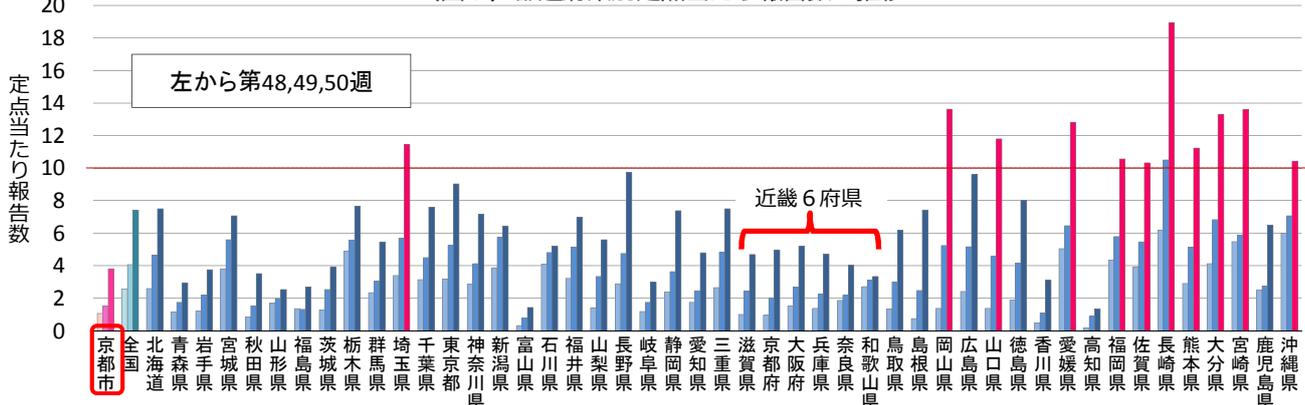
(図1) 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



(図2) 京都市各行政区別定点当たり報告数の推移



(図3) 都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第50週

疾病,行政区別報告数

平成29年12月11日～平成29年12月17日

データ入手日:平成29年12月20日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	5	-	-	1	6	-	-	-	1	-	-	-	-	2						
上京	15	1	-	14	9	-	-	-	1	-	-	1	-	1						
左京	20	-	2	-	147	-	2	-	2	-	-	-	-	-						
中京	11	2	-	6	9	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	9	2	-	-	23	1	1	-	-	-	-	-	-	-						
山科	46	1	-	5	5	12	3	1	5	-	-	1	-	-						
下京	1	-	-	-	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-						
南	51	-	-	9	31	1	-	-	3	-	-	-	-	-						
右京	17	4	6	11	71	3	5	-	2	-	3	3	-	2						
伏見	72	2	1	15	132	6	4	-	8	-	-	3	-	-						
西京	16	1	3	7	55	-	2	-	2	-	-	-	-	-						
京都市計	263	13	12	68	493	25	19	1	24	-	3	8	-	5	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定数当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	0.71	-	-	0.25	1.50	-	-	-	0.25	-	-	-	-	2.00						
上京	3.00	0.33	-	4.67	3.00	-	-	-	0.33	-	-	0.33	-	1.00						
左京	2.86	-	0.50	-	36.75	-	0.50	-	0.50	-	-	-	-	-						
中京	2.20	0.67	-	2.00	3.00	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	3.00	1.00	-	-	11.50	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-						
山科	6.57	0.20	-	1.00	1.00	2.40	0.60	0.20	1.00	-	-	0.20	-	-						
下京	0.33	-	-	-	2.50	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-						
南	10.20	-	-	3.00	10.33	0.33	-	-	1.00	-	-	-	-	-						
右京	2.13	0.80	1.20	2.20	14.20	0.60	1.00	-	0.40	-	0.60	0.60	-	2.00						
伏見	6.55	0.29	0.14	2.14	18.86	0.86	0.57	-	1.14	-	-	0.43	-	-						
西京	2.00	0.20	0.60	1.40	11.00	-	0.40	-	0.40	-	-	-	-	-						
京都市計	3.81	0.30	0.28	1.58	11.47	0.58	0.44	0.02	0.56	-	0.07	0.19	-	0.50	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第50週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年12月11日～平成29年12月17日

データ入手日:平成29年12月20日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	263	1	2	11	9	15	16	25	27	26	18	16	30	4	10	15	14	14	3	2	5
RSウイルス感染症	年齢3	13	2	1	4	4	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		12	-	1	3	2	1	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		68	-	1	3	6	10	11	6	7	4	6	4	8	-	2	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		493	1	30	90	53	38	38	32	36	30	32	20	36	20	37	-	-	-	-	-	-
水痘		25	-	1	2	1	2	3	4	4	3	2	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病		19	-	-	6	3	5	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		24	-	4	17	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		8	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	2	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	3.81	0.01	0.03	0.16	0.13	0.22	0.23	0.36	0.39	0.38	0.26	0.23	0.43	0.06	0.14	0.22	0.20	0.20	0.04	0.03	0.07
RSウイルス感染症	年齢3	0.30	0.05	0.02	0.09	0.09	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.28	-	0.02	0.07	0.05	0.02	-	0.09	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.58	-	0.02	0.07	0.14	0.23	0.26	0.14	0.16	0.09	0.14	0.09	0.19	-	0.05	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		11.47	0.02	0.70	2.09	1.23	0.88	0.88	0.74	0.84	0.70	0.74	0.47	0.84	0.47	0.86	-	-	-	-	-	-
水痘		0.58	-	0.02	0.05	0.02	0.05	0.07	0.09	0.09	0.07	0.05	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.44	-	-	0.14	0.07	0.12	0.05	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.56	-	0.09	0.40	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.19	-	-	-	-	0.02	0.02	0.05	-	-	-	-	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	0.10	-	0.20	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第50週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年12月20日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		13	19	41	73	105	263
RSウイルス感染症		35	26	34	22	24	13
咽頭結膜熱		9	11	5	8	14	12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		43	54	54	62	57	68
感染性胃腸炎		198	220	257	344	408	493
水痘		18	18	24	17	8	25
手足口病		48	42	32	21	19	19
伝染性紅斑		1	-	-	-	2	1
突発性発しん		18	14	13	10	10	24
百日咳		1	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		28	22	25	10	3	3
流行性耳下腺炎		5	6	3	7	4	8
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		3	4	1	6	8	5
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	1	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	1	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		420	438	489	580	662	934

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.19	0.28	0.59	1.06	1.52	3.81
RSウイルス感染症		0.81	0.60	0.79	0.51	0.56	0.30
咽頭結膜熱		0.21	0.26	0.12	0.19	0.33	0.28
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.00	1.26	1.26	1.44	1.33	1.58
感染性胃腸炎		4.60	5.12	5.98	8.00	9.49	11.47
水痘		0.42	0.42	0.56	0.40	0.19	0.58
手足口病		1.12	0.98	0.74	0.49	0.44	0.44
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	0.05	0.02
突発性発しん		0.42	0.33	0.30	0.23	0.23	0.56
百日咳		0.02	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.65	0.51	0.58	0.23	0.07	0.07
流行性耳下腺炎		0.12	0.14	0.07	0.16	0.09	0.19
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.30	0.40	0.10	0.60	0.80	0.50
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	1.00	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	1.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		9.88	12.28	11.09	13.31	15.09	19.80

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。